

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2000年1月1日～2023年12月31日の間に、虎の門病院分院腎センター内科に入院・通院し、腎生検を受けられた方のうち、ANCA 関連血管炎と診断された方

【研究課題名】

組織学的に IgA 腎症を呈した ANCA 関連血管炎の臨床的・病理学的特徴

【研究の目的・背景】

・目的 腎病理組織で IgA 腎症の所見がみられた ANCA 関連血管炎の方の臨床的・病理学的特徴を明らかにする。

・背景 ANCA 関連血管炎は、ANCA という自己抗体が全身の血管に炎症をきたす症候群です。腎臓の細動脈や毛細血管といった小動脈にも障害をきたし、腎病理では血管の壊死や半月体形成といった所見を認めることが特徴的です。また免疫グロブリンや補体成分の沈着を伴わないことも特徴です。IgA 腎症は、腎臓に免疫グロブリンの IgA が沈着して炎症を起こす腎炎です。ANCA 関連血管炎では免疫グロブリンの沈着を伴わないことが特徴的にも関わらず、腎病理で IgA 腎症と同様の所見がみられることが稀にあります。IgA 腎症を呈した ANCA 関連血管炎の特徴に関する研究はこれまでにほとんどありません。そのため、今回組織学的に IgA 腎症を呈した ANCA 関連血管炎の治療や予後を明らかにすることで、ANCA 関連血管炎の診断時に適切な介入を行うことが可能になります。

【研究期間】

2025.1.28 ～ 2026.7.1

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院において研究終了後 5 年間保管いたし

ます。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療記録、看護記録、薬歴、検査データ、病理データなど

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院分院腎センター内科・リウマチ膠原病科 澤 直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年7月1日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科・リウマチ膠原病 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)